

仁真会クリニカルリーダー

		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
		マニュアルや指導を受けながら看護を実践する新人レベル	自ら自立し、主体的に日常看護業務を遂行し、新人指導まで行なうレベル	看護実践において役割モデルとなり、後輩を育成するレベル	チームメンバーの方向づけや育成を行い、担当部署の目標達成に貢献するリーダーレベル
基本要素	知識	マニュアルや過去の学習で習得した一般的知識がある	一般的知識に加え、実践的経験が増えることでケアの選択肢や方法の知識が増えている 心理的側面への援助知識も増える	身体的・心理的側面への援助に加え、社会的側面への援助に必要な知識も加わっている	創造的、且つ意図的に臨床経験から多くの知識を増やし、安全で効率的な質の高いケアをチームで提供するための知識がある
	判断	判断は未熟で先輩にゆだねる傾向があり、行為が対象中心でなく業務中心である	個別的に必要なケアがなにか判断できる	知識と経験から問題を整理し、変化の予測と対応に必要な判断が備わっている	多角的に情報を得て医療チームメンバーで、効率の良い結果につながるケアが何か判断できる
	技術	マニュアルや指導・指示のもとに実施する	患者のニーズを把握し、スピーディーに実践できるようになるが、やや柔軟性に欠ける	スピーディーかつ、チームを意識し、患者の個別性に合わせた工夫や気配りをもって援助できる	チーム医療に必要な人間関係を理解し、看護の立場から援助ができ、その場その場で行為を工夫しケアに活かせる
	態度・姿勢	病院及び看護部の理念を理解し行動する 病院及び看護部の組織と機能について理解する チームの構成員としての役割を理解し協働する	同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションをとる	自部署やほかのチームメンバーのことを考え、協力しながらチーム全体の目標を達成して行く	病院の理念、看護部の方針、部署目標浸透に向けて、リーダーシップをとる
信頼	看護実践能力（信頼を受ける） 所属する看護職場の基本的な看護を（基本的な看護技術、看護過程の展開など）マニュアルまたは指導を受けながら実践する	所属する看護職場で、日常必要とされる看護実践は、ほぼ単独で実施でき、自立的に看護を実践する 患者の個別性に応じた看護を提供する	所属する看護職場で、高度な看護実践を行い、さらにモデル的な看護実践の教示をすることができる 患者満足度が高く個別性の高い看護を提供する・患者の生命、人権を尊重した行動を率先垂範してとる	論理的知識と実践的知識を応用し、全人的でありかつ分析的看護を効率的に実施することができる 看護実践において専門性を発揮する	
友愛	組織的役割遂行能力（友愛を基本にした役割行動） 責任の最も軽い難易度の最も低い、軽微な組織の役割を果たす。看護チームではフォロアーやチームメンバーの役割、所属する看護職場では簡単なルーチンの係の役割を遂行できる	所属する職場で、日常的組織的役割が遂行できる。看護チームでは、チームリーダーやコーディネーターの役割、病棟での係としては創造的能力を要求される係りの役割を遂行できる	所属する職場で、特殊なまたは専門的な能力を必要とされる役割、または指導的な役割（業務改善係、学習会係、教育委員、リスクマネジメント係など）遂行できる チームの一員として効率的なチーム運営に貢献する	所属を超え、看護部や施設全体、地域社会から求められる役割、成果の間われる責任の重い役割（リスク・マネージャーなど）遂行できる プロフェッショナル看護職を育成する	
探究	自己教育・研究能力（探究） 自己の教育的課題を指導によって発見することができる 看護研究に参加する 院内における教育プログラムに参加する	自己の教育的課題達成に向けた教育活動を展開することができる	自己の教育活動に積極的に取り組むとともに教育活動において指導的な役割を実践することができる	単独で専門領域や高度な看護技術等について自己教育活動を展開することができる。組織的研究活動を実践できる	